

令和7年度（2025年度）第1回函館市社会教育委員の会議

# 障がい者の生涯学習推進について

令和7年10月2日(木) 14:00～ 函館市役所8階大会議室

北海道教育庁 渡島教育局 教育支援課 社会教育指導班  
松田 夕紀

## 説明のながれ

### 1. 障がい者の生涯学習に関する動向

- (1) 障がい者の生涯学習推進の背景
- (2) 障がい者の生涯学習に関する現状と課題
- (3) 障がい者の生涯学習の推進方策

### 2. 北海道の現状と道教委の取組

- (1) 北海道の現状
- (2) 道教委の取組

### 3. 渡島教育局の取組

- (1) 障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊
- (2) 「ウェル活」しませんか？

### 4. 道教委からのお知らせ

# 1. 障がい者の生涯学習に関する動向

（1）障がい者の生涯学習推進の背景

（2）障がい者の生涯学習に関する現状と課題

（3）障がい者の生涯学習の推進方策

## （1）障がい者の生涯学習推進の背景

平成26年 「障害者権利条約」の批准

→障がい者の生涯学習機会の確保が明記

平成28年 「障害者差別解消法」の施行

→国・自治体における合理的配慮の義務化

平成29年 文部科学大臣メッセージ（松野大臣）

→「特別支援教育の生涯学習化に向けて」

## 大臣メッセージ

(平成29年4月7日 松野博一 文部科学大臣)

私はかねてより、障害のある方々が、この日本の社会でどうしたら夢や希望を持って活躍していくことができるかを考えてきました。その中でも印象的だったのが、特別支援学校での重い知的障害と身体障害のある生徒とその保護者との出会いです。その生徒は高等部3年生で、春に学校を卒業する予定であり、保護者によれば、卒業後の学びや交流の場がなくなるのではないかと大きな不安を持っておいででした。他にも多くの保護者から同様のご意見をいただきました。

これまでの行政は、障害のある方々に対して、学校を卒業するまでは特別支援学校をはじめとする「学校教育施策」によって、学校を卒業してからは「福祉施策」や「労働施策」によって、それぞれ支援を行ってきました。しかし、これからは、**障害のある方々が、学校卒業後も生涯を通じて教育や文化、スポーツなどの様々な機会に親しむことができるよう、教育施策とスポーツ施策、福祉施策、労働施策等を連動させながら支援していくことが重要**です。私はこれを「特別支援教育の生涯学習化」と表現することとしました。

文部科学省では、このような観点から昨年12月に「文部科学省が所管する分野における障害者施策の意識改革と抜本的な拡充」を公表しました。併せて、省内の体制を確立するために「特別支援総合プロジェクト特命チーム」を設置しました。さらに、今年度から生涯学習政策局に「障害者学習支援推進室」を新設しました。今後、この「障害者学習支援推進室」を中心に全省的に「Specialプロジェクト2020」や特別支援学校等における地域学校協働活動の推進、卒業後も含めた切れ目ない支援体制の整備の促進、障害のある学生への大学等における支援体制の充実等に取り組んでいきます。

各地方公共団体におかれでは、障害のある方々がそれぞれのライフステージで夢と希望をもって生きていけるよう、生涯にわたる学習活動の充実を目指し、生涯学習や特別支援教育、スポーツ、文化、福祉、労働などの関係部局の連携の下、国とともに取り組んでいただきますようお願いいたします。

今週（4月2日～8日）は発達障害啓発週間です。

改めて、**国と地方公共団体、企業に加えて地域の皆さんとともに、障害のある方々がわけ隔てなく、互いに尊重し合いながら共生する社会の実現を目指していきたい**と強く願います。

## （2）障がい者の生涯学習に関する現状と課題

### 学校卒業後の状況

◆特別支援学校卒業生の高等教育機関への進学率  
**約2.1%**

（卒業生の9割近くを占める知的障がい者の進学率 約0.5%）



### 就職または障がい福祉サービス

※令和5年度学校基本調査

## (2) 障がい者の生涯学習に関する現状と課題

### 障がい当事者の声（アンケート調査）

- ◆ 生涯学習の機会が「十分にある」「ある程度ある」  
38.2%
- ◆ 現在生涯学習に取り組んでいる  
20.7%
- ◆ (生涯学習に取り組んでいない理由)  
どのような学習があるのか、知らない  
55.8%

※令和4年度調査

## (3) 障がい者の生涯学習の推進方策

学校卒業後の障がい者が学ぶ場が十分でない



### 目指す方向性

- 誰もが、障がいの有無にかかわらず**共に学び、生きる**  
**共生社会の実現**
- 障がい者の**主体的な学び**の重視、個性や得意分野を  
**生かした社会参加の実現**

### 取り組むべき施策

- 国、地方公共団体、特別支援学校、大学、民間団体が  
役割分担し、**多様な学びの場づくり**を推進
- 教育、福祉、労働等の分野の取組と連携の強化が重要

## 2. 北海道の現状と道教委の取組

（1）北海道の現状

（2）道教委の取組

### （1）北海道の現状

道内市町村における「障がい者の生涯学習」に関する実態調査（令和7年4月、全道178市町村）

①障がいの有無にかかわらず参加可能な生涯学習事業を実施している市町村の割合

※障がい者が参加することを想定して、情報保障や  
アクセシビリティ等について検討しているもの

43.8% (78市町村)

## (1) 北海道の現状

②「障がい者の生涯学習」に関する事業等の情報を提供している市町村の割合

19.7% (35市町村)

→「広報誌への掲載」、「ホームページへの掲載」  
「チラシ、パンフレット等の配布」が多い

③市町村が策定する教育全般に関する計画

(教育振興基本計画等)への障がい者の生涯学習支援に関する施策や事業を記載

している市町村の割合 21.9% (39市町村)

## (1) 北海道の現状

④教育委員会職員を対象とした

「障がい者の生涯学習」に関する

研修を実施している市町村の割合

1.7% (3市町村)

⑤教育委員会職員を対象とした

「障がい理解等」に関する

研修を実施している市町村の割合

3.9% (7市町村)

# (1) 北海道の現状

## ⑥障がい者の生涯学習推進上の課題が「ある」とした市町村の割合

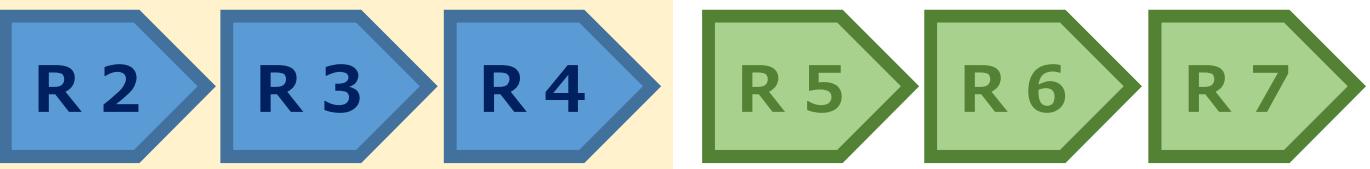
96.1% (171市町村)

### 障がい者の生涯学習推進上の課題

- ・ニーズの把握
- ・体制の整備
- ・施設や設備等の整備
- ・講師、指導者、ボランティア等の確保・養成

# (2) 道教委の取組

### 障害者の生涯学習推進コンソーシアム形成事業



### インクルーシブ推進事業「ビッグフラグアート」

- ▶ ビッグフラグ制作
- ▶ 共生社会の祭典「東京2020パラリンピック」
- ▶ 北広島市民が応援する気持ちをアートで表現、障がい者・子ども・女性・高齢者・大学生等100人の「ビッグフラグ事業」として横断幕(10メートル)にチャレンジ
- ▶ 制作指導: Satoly (サトリー)



PROFILE



はじめとクリエイティブ・エージェンシー池尻

2020年

東京2020パラリンピック

開催地: 東京

開催期間: 2020年8月24日(木)~9月5日(金)

開催場所: 東京オリンピック・パラリンピック競技場



## (2) 道教委の取組

R 2

R 3

R 4

障害者の生涯学習支援体制構築モデル事業

R 5

R 6

R 7

### 地域連携コンソーシアムの形成

北海道の広域をつなぐネットワークの構築により、障害者の生涯学習の支援体制のさらなる充実

#### コンソーシアム会議

- ・学びを支えるネットワーク体制の構築・充実
- ・事業の総合的な方向性の協議及び検討（全道各地で展開される学校卒業後の学びの現状や課題の共有）

#### 障害者の学びに関するニーズや実態等の把握

- ・市町村や社会教育施設で行われる障害者の生涯学習に関する調査研究や実証研究事業を実施し、実践事例を蓄積し、その横展開を図る

### 学びをひろげる中核人材の育成

全道各地における学びを生み出す、専門性を身に付けたコーディネーター等の人材育成

#### コーディネーター養成研修

- ・市町村職員やNPO法人職員等を対象（年5回、全道各地に配信）（講演、実践発表、交流）
- ※上記人材による事業の開催も計画（R 6以降）

#### 全道キャラバンの取組

- ・市町村における実態把握の充実（3か年で全14管内）

#### アドバイザー相談窓口

- ・市町村におけるスタートアップ支援も含めた相談体制

### 学習プログラム実施における支援

多様な主体のマッチングと、ICTの有効活用によって、全道各地の取組を支援

#### 多様な主体の連携による学習プログラムの開発

- ・大学と市町村、医療福祉法人と当事者団体など、多様な主体のマッチングによって生み出す様々なパターンの学習プログラム（5事業）

#### ICTの積極的な活用による学習・交流プログラム

- ・広域な生活圏を有する北海道の地域課題をフォローするため、ICTを積極的に活用した学習講座や交流活動の実施

### 持続的な学びを生むシステム構築

障害者の生涯学習に向けた基盤を構築するための研究協議や、学びの接続を意識した機会創出

#### 教育と、就労及び福祉分野との連携に関する協議

- ・学校卒業後における就労及び福祉分野へのアクセスを意識した研究協議
- ・障害当事者や特別支援学校に対するヒアリング

#### 卒業後の「学びの接続」を意識した機会創出

- ・学校卒業後の切れ目のない学習機会を生み出すため、大学と特別支援学校が連携した、地域における学びの機会を創出

多様な主体をつなぎ、  
持続的な学びの基盤を整備

### 読書や図書館の利用に関する支援

読書バリアフリー法に基づき、読書や図書館等の利用に困難を伴う障害者を対象とした、図書館等の取組を促進するための研修

### 情報の一元的な収集・提供

各地域における障害者に関する学びの情報が本人や関係者に届きにくい課題を解決するため、情報の収集・提供に関する仕組みづくり

### 共生社会コンファレンスの開催

実践者同士の交流、課題解決に向けた研究協議等を行うことで、本コンソーシアムにおける取組の成果を、参加者間で広く共有

## (2) 道教委の取組

R 2

R 3

R 4

障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業

R 5

R 6

R 7

### 1 関係機関の参画による地域連携コンソーシアムの形成

多様な分野の有識者や障がい当事者からの参画も得た会議や、全道各地の市町村教育委員会や道内外の先進的な取組を行う団体への調査研究によって、今後の取組の総合的な方向性を定める。

- ①地域連携コンソーシアム会議（年3回）
- ②学びのニーズや実態等に関する調査研究
- ③学びに関する情報収集・情報提供の仕組みの構築
- ④地域連携コンソーシアム会議や調査研究の内容をもとにした啓発用資料の作成・活用による、障がい者の受入体制の向上

### 3 障がい者の学びを生み出す人材の養成

オンライン形式で行う講座や、各地域を巡回して行うキャラバン隊によって、市町村教育委員会の職員をはじめとして、本取組を推進するに当たって中核となる人材の養成と資質向上を行う。

- ①障がい者の学びの支援入門講座（全5回、オンライン）
- ②障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊（実施管内：後志・留萌・宗谷・釧路・根室）
- ③社会教育主事及び社会教育士を目指す人材や、市町村図書館及び学校図書館担当職員に対する研修

### 2 生涯学習プログラムを実施する

#### 多様な主体に対するスタートアップ支援

モデルプログラムの実施とそのノウハウの普及に加えて、本取組の基本的な考え方を周知する学習会等によって、教育・医療・福祉など、多様な団体のスタートアップを支援する。

- ①多様な主体の連携による学習プログラム構築事業
- ②スタートアップ支援学習会（主管：①②ともに、胆振・日高・渡島・上川・十勝）
- ③障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング

### 4 障がいの有無にかかわらず、誰もが学び続けられる地域社会の構築

全道各地の関係者が集うコンファレンス等によって、障がいの有無にかかわらず、学び続けられる地域社会の基盤構築を行う。

- ①共に学び、共に生きる共生社会コンファレンス in 北海道（ハイブリッド方式、地方会場の設置も検討）
- ②特別支援学校の児童・生徒の、卒業後の学びへの意欲向上やイメージづくりに向けた、学校及び地域への働きかけ
- ③アクセシブルな書籍の充実や活用に向けた啓発

# 多様な主体の連携による 学習プログラム構築事業

渡島管内  
「サップに挑戦」



空知管内  
「みんなでLet's Try!」



日高管内  
「うまとふれあい ほっこりタイム」



# 多様な主体の連携による 学習プログラム構築事業

胆振管内  
「障がい×学び～聞こえない世界とは～」



上川管内  
「鷹栖町北野地区防災教室」



十勝管内  
「ほん×工作」





第1部



第3部



第2部



第5部

A photograph of a group of people in wheelchairs gathered in a large room with wooden walls and recessed lighting. In the foreground, a person in a dark suit is standing and clapping. Several people in wheelchairs are seated in a semi-circle, facing the person in the suit. The room appears to be a conference or assembly hall.

# 障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業

令和7年度

## 趣旨

学校卒業後の障がい者の社会参加・活躍を一層推進するため、地域コンソーシアム形成による持続可能な生涯学習支援体制を構築し、多様な学びの場の拡充を目指すとともに、市町村が障がい者の生涯学習に関する施策を計画的に推進できるよう、共生社会コンファレンス等の取組を通して、成果の普及を図る。

### 学校卒業後の障がい者の学びの場の拡充

1 関係機関の参画による地域コンソーシアムの形成 ①地域コンソーシアム会議（年3回） ②各地の障がい者の生涯学習に関する取組及び他地域の共生社会コンファレンス等の構成員視察（道内3回、道外1～2回） ③障がい者の受入体制向上のための啓発用資料の作成	5 障がい者の学びに関するニーズや実態、地域の学びの環境に関する調査研究の実施 ①障がい者の学びのニーズや実態等に関する調査研究 ②ワーキングチーム会議（3回～5回）※7と兼ねる ③障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業成果報告会
2 障がい者の生涯学習プログラムを実施する多様な実施主体（市区町村、大学、民間団体等）に対する支援 ①多様な主体の連携による学習プログラム構築事業 ②スタートアップ支援学習会 （主管：①②檜山・留萌・宗谷・根室） ③障がい者の生涯学習推進キックオフミーティング	6 特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に資する取組の実施 ①特別支援学校や大学等との連携による児童生徒への体験的な学びの機会拡充事業（主管：空知・渡島） ②特別支援学校等における児童生徒の生涯学習の意欲向上に向けた学校及び地域への働きかけ
3 障がい者の学びを支援する人材の育成に資する研修（合理的配慮を含む）の実施 ①障がい者の学びの支援入門講座 ②障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊 (実施管内：空知・胆振・渡島・オホーツク・根室)	7 障がい者の学びに関する情報を一元的に収集・提供する仕組みの構築 ①障がい者の学びに関する情報を一元的に収集・提供する仕組みの構築 ②ワーキングチーム会議（3回～5回）※5と兼ねる
4 地域における関係団体、支援者、障がい者本人等が参加する共生社会コンファレンスの実施 ①共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道 (特別支援学校との連携、生涯学習推進センターによる調査研究の発信)	8 読書や図書館等の利用や意思疎通に困難を伴う障がい者の支援に関する取組の実施 ①障がい者の読書環境の整備に向けた研修事業（主管：十勝） ②アクセシブルな書籍の充実や活用に向けた啓発

### 共に学び、生きる共生社会の実現

# 共に学び、生きる 共生社会コンファレンス in 北海道

令和7年 10月 30日 (木)

第一部 10:30～12:30 第二部 14:00～17:30

会 場

函館市亀田交流プラザ  
(函館市美原1丁目26-12)

### 3. 渡島教育局の取組

- (1) 障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊
- (2) 「ウェル活」しませんか？

### 渡島教育局の取組

#### 令和7年度 障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業 in 渡島 ウェル活・ともに学ぶプロジェクト ～支えあい・学びあい・分かちあい

##### 趣旨

学校卒業後の障がい者の社会参加・活躍を一層推進するため、地域コンソーシアム形成による持続可能な生涯学習支援体制を構築し、多様な学びの場の拡充を目指すとともに、市町村が障がい者の生涯学習に関する施策を計画的に推進できるよう、共生社会コンファレンス等の取組を通して、成果の普及を図る。

##### 学校卒業後の障がい者の学びの場の拡充

###### ～ 支えあい ～

###### 障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊

###### 障がい者の生涯学習に関する学習会

渡島社会教育主事会  
との連携

R 6 年度「多様性に応じた社会教育」、R 7 年度「多様性を認め合う社会教育」とした研修を進めていることから、障がい者を含めた多様な参加者に高い満足度をもっていただけることを目的に、各市町の社会教育関係者が事業立案等の学びを深める。

###### ～ 学びあい ～

###### 特別支援学校や大学等との連携による児童生徒への体験的な学びの機会拡充の取組

###### 地域と連携した体験学習

独自で地域学校協働本部(HKSサポートーズ)を立ち上げ、学校運営協議会と連携した取組を実施している。また、北海道教育大学函館校と協働・連携した学びを進めている。地域との連携・協働をとおして、体験的な学びを深め、生徒の卒業後の余暇活動や地域の生涯学習支援体制の構築につなげる。

函館高等支援学校  
HKSサポートーズ  
北海道教育大学函館校  
との連携

###### ～ 分かちあい ～

###### 共に学び、生きる共生社会コンファレンス in 北海道

###### 参加者との体験型の学び(ウェル活)

函館高等支援学校生徒が学んだことを地域の方へ披露したり、北海道教育大学函館校の協力を得て、障がいのある方を含めた来場者がスポーツや文化活動等の体験をすることをとおして、障がい理解を深める。

函館高等支援学校、北海道教育大学函館校、  
障がい者福祉施設、地域の社会教育団体、  
渡島社会教育主事会、地域住民 等

###### 参加者との連携協力

###### 障がい者の生涯学習に関する講話・研究発

議  
障がい者の生涯学習に関する現状や課題をふまえ、誰もが違いを認め合い自分らしく学び続けるための自分自身の在り方について、参加者の皆さんとともに考えを深める。

### ともに学び、生きる共生社会の実現

## 障がい者の生涯学習に関する理解促進に向けたキャラバン隊in 渡島

(1) 説明 「障がい者の生涯学習推進における現状と道教委の取組」

説明者：北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

(2) 講義 「障がい者の生涯学習推進に向けて」

講師：医療法人稻生会 学びのディレクター 松井翔惟 氏

(3) 協議 「障がい者の生涯学習の充実に向けた私たちの役割」

進行：渡島教育局教育支援課社会教育指導班

助言者：医療法人稻生会 学びのディレクター 松井翔惟 氏

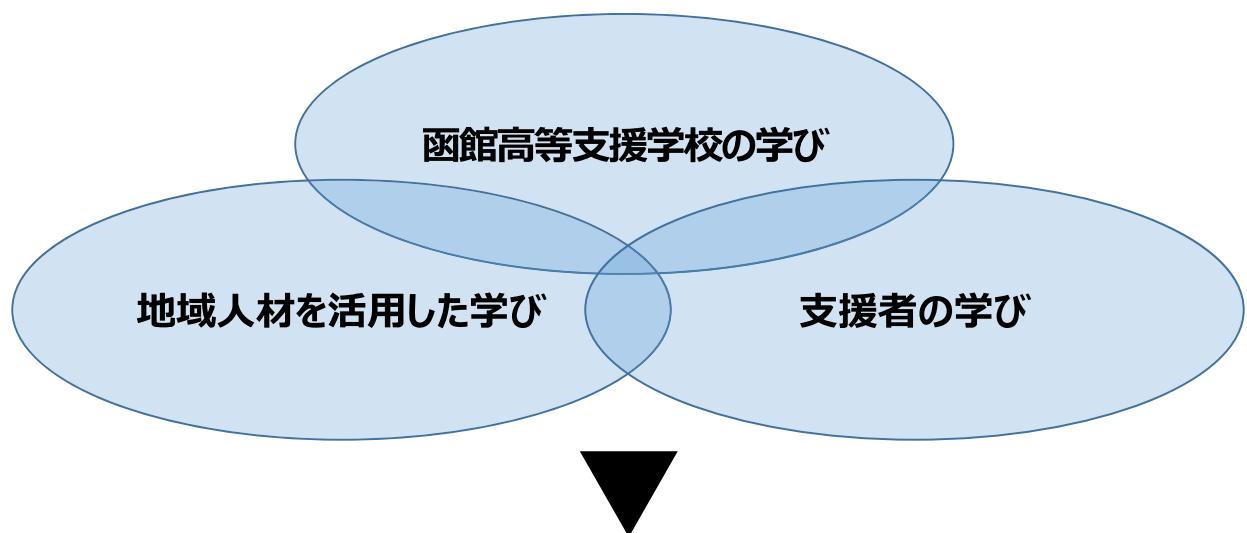


特別支援学校や大学等との連携による児童生徒への体験的な学びの機会拡充の取組

### 「ウェル活」しませんか？

#### 【目的】

特別支援学校や大学等との連携による児童生徒への体験的な学びの機会の提供を通して、児童生徒の在学中からの生涯学習についての具体的なイメージづくりを図るとともに、学校卒業後も主体的に学び続けるための意欲向上を図る。



生徒の卒業後の余暇活動や地域の生涯学習支援体制の構築

特別支援学校や大学等との連携による児童生徒への体験的な学びの機会拡充の取組

## 「ウェル活」しませんか？



【パン作り】  
キングベーカ 様



【ゴスペル】  
ゴスペルクワイア  
MSC 様



【車椅子バスケットボール】  
車椅子バスケットボール  
Harder's 様



## 3. 道教委からのお知らせ

- (1) 共生社会コンファレンスチラシ
- (2) 「ウェル活」しませんか？
- (3) 「障害のある方の学びの体制を構築するために」リーフレット(正規版)
- (4) 「多様な性について知っていますか？」
- (5) 「ネイパル共通リーフレット」
- (6) 防災APプログラム集
- (7) 「体験で子育てをアップデート！」
- (8) 家庭で。地域で。みんなで考え、取り組みましょう 子供の望ましい生活習慣・学習習慣
- (9) 「時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える！」小学校版

# 共に学び、生きる 共生社会コンフルエンス in 北海道

障がいのある方の学びの場について、一緒に考えてみませんか。  
障がいの有無にかかわらず、どなたでもお気軽にご参加ください。

令和7年 10月30日(木)

第一部 10:30～12:30 第二部 14:00～17:30 / 参加無料

会 場

函館市亀田交流プラザ  
(函館市美原1丁目26-12)



◀ 参加申込フォーム

フォーム入力によるお申込みが難しい場合は、  
下記お問合せ先までご連絡ください。



車いす可



補助犬可



途中入退場可



手話通訳あり



要約筆記あり



エレベーターあり



多目的トイレあり



優先駐車場あり

お問合せ先

北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

〒060-8544 北海道札幌市中央区北3条西7丁目 道庁別館 TEL: 011-204-5994 FAX: 011-232-2236

## ウェル活・ともに学ぶプロジェクト

「ウェル活・ともに学ぶプロジェクト」は、特別支援学校の生徒が学校卒業後の学びの場をイメージするきっかけとなる、障がいの有無にかかわらず誰でも参加できる体験活動です。お申込みの際に①～③から一つをお選びいただきますので、ウェル活でともに学びましょう。

## ①おいしいコーヒーの淹れ方講座

講師：美鈴商事株式会社

函館生まれの美鈴珈琲のおいしいコーヒーを淹れる秘伝の技を覗いてみましょう。

ほっと一息できるコーヒータイムを、もうひと工夫してみませんか？

## ②みんなで歌おう！ゴスペル体験

講師：ゴスペルクワイア MSC

長年、函館で活動を続けていたるゴスペルクワイアMSCさんと一緒に、歌うことの楽しさに触れてみませんか？

大きな声を出して身も心もリフレッシュしましょう！

## ③車いすバスケットボールに挑戦

講師：Harder's 函館元町ライオンズ WBC

世界で活躍する選手を輩出するチームと一緒に車いすバスケに挑戦してみませんか？

想像以上の迫力に圧倒されますよ。

※運動のしやすい服装と室内用シューズをご準備ください。

## タイムテーブル

10:00 第1部受付

10:30 体験活動

11:30 事業説明

昼休憩

13:30 第2部受付

14:00 開会

14:10 行政説明

14:30 講話

15:15 実践発表

15:45 トークセッション

16:30 協議

17:15 閉会

## 講話

## 函館コレクションが描く未来



講師：鹿野 牧子 氏

〔函館市女性会議D E I & S アドバイザー  
Uスタイル北海道プロジェクト/社協職員〕

障がいの有無にかかわらず参加できるユニバーサル・ファッショショーンショー「函館コレクション」で立ち上げ当初からアドバイザーを務めている鹿野さんに、このイベントへの想いや描く未来についてお話しします。

## 実践発表

## 手稻まちごと公民館構想

発表者：松井 翔惟 氏（医療法人稻生会 学びのディレクター）

## トークセッション

## 自分らしく学び続けるために

登壇者：島 信一朗 氏（インクルーシブ未来推進機構代表）

佐藤 英明 氏（文部科学省障害者学習支援推進室）

五十嵐真幸 氏（N P O 法人カムイ大雪バリアフリー研究所）

# 『ウェル活』 しませんか？

「ウェル活」とは・・・

地域や社会のウェルビーイングの向上を目指し、障がいの有無にかかわらず、だれもが主体的に学び続ける活動のことです。

函館で活躍している団体・企業を講師に招いて実施する  
函館高等支援学校の授業を体験・見学してみませんか？

## パンづくり 見学会

9／5 (金) 8:35～12:55

講師 株式会社 キングベーク 様



## ゴスペル 体験会

9／8 (月)

10／6 (月) 9:30～11:00

11／10 (月)

講師 ゴスペルクワイアMSC 様



## 車椅子 バスケット ボール 体験会

9／17 (水) 13:10～15:30

講師 Harder's函館元町ライオンズ  
車椅子バスケットボールクラブ 様



会場 北海道函館高等支援学校（函館市石川町181-8）

函館高支って  
こんな学校！

公式HP



公式note



詳細や申し込み方法につきましては、  
別紙 開催要項をご覧ください。

北海道教育厅渡島教育局（担当：松田）  
TEL 0138-47-9586 FAX 0138-47-9216  
MAIL matsuda.yuki@pref.hokkaido.lg.jp

令和7年度 障がい者の生涯学習支援体制構築モデル事業 in 渡島  
ウェル活・ともに学ぶプロジェクト  
「ウェル活しませんか?」 開催要項

1 趣 旨 障がい者の生涯学習推進に向け、障がいの有無にかかわらずスポーツや芸術、調理活動等に取り組む楽しさを体験することを通じて、生徒の在学中からの生涯学習についての具体的なイメージづくりを図り、障がいの有無にかかわらない社会参加や活躍の場づくりの機会とともに、障がい者の学びを支援する人材育成の基盤とする。

2 主 催 北海道教育委員会

3 日 時 令和7年9月5日（金）～11月10日（月）

4 会 場 北海道函館高等支援学校（〒041-0802 北海道函館市石川町181-8）

5 対 象 北海道函館高等支援学校生徒及び教職員、北海道函館高等支援学校学校運営協議会委員、HKSサポートーズ、市町及び市町教育委員会職員、北海道渡島総合振興局職員、北海道教育大学函館校関係者、障がい者当事者団体、障がい者福祉に関心のある地域住民等

6 内容及び日程

(1) パンづくり講座見学会（講師：株式会社キングベーカー）

9月5日（金） 8:35～12:55

8:15	8:35	8:55		12:35	12:55
受付	オリエンテーション	(1) 講師紹介	(2) 体験	(3) ふりかえり	閉会

(2) ゴスペル体験会（講師：ゴスペルクワイアMSC）

9月8日（月）、10月6日（月）、11月10日（月） 9:30～11:00

9:10	9:30	9:50		10:40	11:00
受付	オリエンテーション	(1) 講師紹介	(2) 体験	(3) ふりかえり	閉会

(3) 車椅子バスケットボール体験会（講師：Harder's 函館元町ライオンズ車椅子バスケットボールクラブ）

9月17日（水） 13:10～15:30

12:50	13:10	13:25		15:10	15:30
受付	オリエンテーション	(1) 講師紹介	(2) 体験 ※適宜休憩をはさむ	(3) ふりかえり	閉会

7 申 込 右の申込みフォームから申込みいただくか、別紙申込み書を下記申込み先あてメールまたはFAXでご提出ください。

**※申込み締切：各体験会・見学会の前日の13時まで**

【 <https://cloud.harp.asp.lgwan.jp/id=C7u61lcb> 】



8 その 他

- ・上靴を持参し、車椅子バスケットボール体験会に参加される方は、動きやすい服装でお越しください。
- ・パンづくりは衛生管理上、生徒のみの体験とします。参加者の方は見学のみです。御了承ください。

9 申込・問合せ先

北海道教育庁渡島教育局教育支援課社会教育指導班 担当：松 田 夕 紀

電 話：0138-47-9586 FAX：0138-47-9216

メ ラ ー ル：[matsuda.yuki@pref.hokkaido.lg.jp](mailto:matsuda.yuki@pref.hokkaido.lg.jp)

# 障害のある方の学びの体制を構築するために

令和5年度「障害者の生涯学習支援体制構築モデル事業」地域連携コンソーシアム会議から

## 【共に学び、生きる共生社会の実現に向けて】

障害のある方の多くは、学校卒業後も、学ぶ意欲はあるものの、身近な地域に学ぶ場が十分ではありません。

また、社会の一員として、学んだことや得意なことを地域の中で生かしたくても、周囲の理解が得られず、その機会が不十分だと感じた経験をした方も多いようです。

社会教育主事や社会教育施設のスタッフなど、社会教育に携わる皆様には、「誰一人取り残すことなく、すべての人に必要な学びの機会を提供する」ことの重要性を認識していただき、地域の教育資源や人材を最大限に生かした、多様な学びの機会を広げていくことが求められています。



## 【新たに取組を開始する上での5つの視点】

道教委では、教育・医療・福祉など多様な専門分野の団体から協力を得て、有識者によって構成される会議を開催し、全道各地の現状と課題を整理するとともに、今後の方策について協議を積み重ねてきました。その中では、これまで取組を行ってきた地域で、障害のある方も参加できる学びの機会を継続するだけでなく、新たに活動を開始した地域の取組を定着・発展させ、持続していくことの重要性が確認されました。

また、市町村教育委員会や社会教育施設が、学びの支援体制を構築する上で特に重視すべきことについても協議を行いました。本リーフレットでは、その内容を“5つの視点”にまとめ、具体的な実践も交えて紹介します。

### 視点1 既存の事業や取組を再評価し、アレンジする

多くの市町村教育委員会や社会教育施設においては、専門的な知識を持つスタッフが少ない中で、新たな取組を行うことに高いハードルを感じるかもしれません。

また、これまでの取組をふりかえり、「自分のマチや施設ではほとんど取組を行えていないし、できるのかな?」と消極的になる場合もあるようです。

会議では、「各地の社会教育実践の中には、担当者が気付いていないだけで、優れた内容も多くあり、既存の取組を生かす視点も必要である」との意見が出されました。

- 主催事業や施設の受入について再評価を行い、その上で既存の事業の内容を充実したり、アレンジを加える
- 既に取組を行う福祉や医療の団体から助言を得たり、共に事業内容を考える

## 視点2 障害の有無に関わらず、参加できる事業構成にする

「障害者の生涯学習」と聞くと、障害のある方に向けて新たな講座を実施しなくてはいけないと考える方が多いようですが、共生社会実現のためには、**障害のあるなしにかかわらず、誰もが参加できる事業を増やすことが望まれています。**各地の実践を見ると、次のような工夫がされています。

- 「食」「スポーツ」「文化交流」など、学びのハードルが比較的低く、誰もが参加しやすいテーマを設ける
- 募集チラシに、「障害者のための」「障害者に向けて」と記載されると抵抗を感じる方もいるため、「誰もが」「共に」「どんなたでも」等の記載を行う

### わがまち食材をGet & Eat

(真狩村教育委員会など)

「地域の基幹産業である農業と食をテーマに、ジャガイモやニンジンなどの収穫体験や、ポテトピザを調理する体験などに取り組む講座を催しました。

障害のある方にとって、身近で関心のあるテーマを設定することで、講座参加へのハードルを下げることができました。

様々な体験  
活動や交流活動に意欲的に  
参加する姿が  
見られました。



## 視点3 学びの現状を把握し、主体的な学びを保障する

学びを充実させるためには、学習者本人の主体性を引き出すことが重要です。

また、生涯学習の理念を考えた場合、**障害のある方が受講者になるだけでなく、学習の企画から実施まで継続的に関わることも意義深いこと**となります。

そのため、事業担当者等は、学習参加者の学びのニーズを把握したり、講座を提供する際の配慮の在り方について十分理解を深めることが大切です。

- 医療・福祉の関係者へヒアリングを行う
- 特別支援学校や福祉施設で行われる活動の様子を実際に見学する
- 障害のある方が参加するボッチャなどのスポーツ大会に参加や視察する

### アイヌ文化を学ぶバスツアー

(医療法人稻生会「みらいづくり大学」)

「オンラインで継続してきたアイヌ語講座の参加者からの「皆で集って学びたい」という要望を受けて実施した取組です。

準備段階から、障害の有無に関わらず、様々な人たちで話し合いを重ねて実施することができました。

本ツアー以外の定期的に開催している講座についても、受講するだけでなく、企画会議などの「場づくり」にも参画できるよう工夫をし、障害のある方の主体的な学びを保障するようにしています。」



### 【特別支援学校の先生からのご意見】

社会教育施設などで校外学習を行う場合には、トイレやオムツの交換場所の有無を確認しています。再調理することもあるため、電源や水道の位置も確認するようにしています。可能であれば、施設のホームページやリーフレットにそのような情報を掲載していただけすると、利用へのハードルが下がるので助かります。

## 視点4 学びへのハードルを下げる工夫を行う

障害のある方やそのご家族に聞くと、「興味はあっても、運営者や他の参加者に迷惑を掛けてしまうのではないか」と不安になり、講座への参加を控えるケースも多いようです。

参加された方に聞くと、実際に事業に参加したことのある方の体験談を参考にしたり、知人や支援者など関わりのある方が一緒に参加することで、学びへのハードルが大きく下がることが紹介されました。

- 障害のある方と日常的なつながりを持つ方の協力を得て実施する
- 広報チラシに、具体的な体験内容や事業の際の配慮を示す
- 家族など支援者も参加やすい、日程・場所・内容を設定する

### お手軽なアート作品に挑戦しよう

(小清水町教育委員会など)

「余暇活動の幅をひろげるため、障害の有無に関わらず参加できるカラフルボトル作りやハンカチのインク染め講座を行いました。

開催に当たり、障害のある方と日常的に関わりをもつ、町の社会福祉協議会の担当者に、企画・立案、参加者集約、当日の活動支援に携わっていただきました。

障害のある方のニーズや、配慮すべき情報を事前に講師と共有をすることで、講座参加者が安心して活動に取り組む環境を整えることができました。」



## 視点5 当事者や家族の意見を生かした配慮を行う

障害のある方が、講座等に参加することが決まった場合には、学びや活動を制限する障壁（バリア）を取り除くための配慮（合理的配慮）を提供することが求められます。

合理的配慮の内容は、障害特性やそれぞれの場面・状況に応じて異なりますが、ご本人やご家族との“対話”を重ね、個々の場面ごとに柔軟な対応を検討して、学びの障壁を取り除くことや、学習や交流に対する意欲を引き出すことが重要です。

- 障害のある方と担当者が、「建設的対話」を通じて相互理解を深める
- 学びや活動を制限している障壁（バリア）を取り除くため、対応案を共に検討する  
（建設的対話を一方的に拒むことは、義務違反となる可能性もあります）

## 【持続的な取組にするために】

誰もが、障害の有無にかかわらず共に学び、生きる共生社会を実現することが、自分たちの解決すべき課題であることについて、地域からの理解を得られないと、取組が一過性に終わり、持続性が失われてしまう可能性が指摘されました。

各市町村では、障害のある方の学びのニーズや課題等を調査・把握し、各種計画等に位置付け、施策を着実に推進することが重要です。社会教育施設においても、施設の運営計画や業務マニュアルに受入体制や配慮事項を定めておくことも、受け入れ体制を整えるためには大切なことです。



# 社会教育施設で受入体制を整えるために

障害の有無にかかわらず、交流する機会や共に学ぶ機会を広く整備していくためには、施設・設備、主催事業、運営等について、合理的配慮の観点から見直しを行うようにしてください。

## 【施設・設備】

- 廊下や通路に歩行の障害になるような物を置かない
- 障害者用駐車場を設ける
- 施設内の案内にルビを付けたり、表示を大きくする
- 拡大鏡、老眼鏡、筆談ボードを用意する

## 【主催事業】

- 障害を理由に参加を断らない
- 障害のある方が個人で参加できる（家族等の同伴を求めていない）
- 希望により、手話通訳・要約筆記・展示資料を付ける
- 希望により、点字資料・テキストデータ・大きな文字の資料を準備する

## 【運営】

- 相談があった場合、前向きに利用を保障しようとする
- 地域の障害者団体と連携した活動を行ったり、意見を聞く
- 障害のある方の学びに関する、運営方針や計画などを定めている
- 合理的配慮に関する担当者を決めている
- 職員を対象とした、障害のある方の学びに関する研修機会を設ける

## 【その他】

- 障害者手帳の有無に関係なく、障害者サービスの登録・利用ができる
- アクセシブルな施設ホームページの作成に留意する

## 【取組に対する道教委の支援】

道教委では、道内各地の現状と課題を踏まえ、“障害者の学びを支援する人材の養成”や“モデルプログラムの開発”に加え、“市町村の新たな取組へスタートアップ支援”も実施しています。取組を開始する場合や既存の取組を拡充する場合には、お近くの教育局にご連絡ください。

【発 行】北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

電 話：011-204-5994

メ ール：kyoiku.seigakul@pref.hokkaido.lg.jp



# 多様な性について知っていますか？

性の多様性に関する周囲の理解不足や環境が整えられていないことなどを理由に、児童や生徒が偏見の目を向けられたり、嫌がらせや差別的な扱いを受けたりすることがあります。

誰もが自分らしく生きることができる社会の実現に向けて、性の多様性について、一緒に理解を深めていきましょう。



## ○ 困ったり、傷ついたりしている子どもたち

“こころの性”は女性なのに、なぜ、“からだの性”は男性なんだろう？



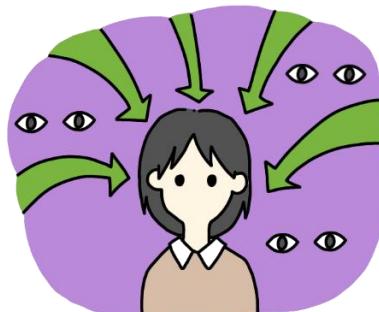
友達は好きな人の話をしているけれど、恋愛感情を抱かない私はおかしいの？



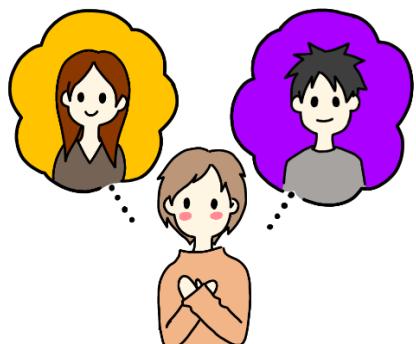
“こころの性”は男性なのに、修学旅行で女の子と一緒に部屋は恥ずかしい。



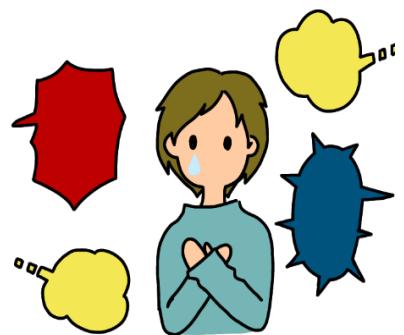
性に関する悩みを家族に伝えたいけれど、どんなことを言われるかなあ？



男の子も女の子も好きになるのだけれども、おかしいことなのかな？



周囲から、「嫌なこと」を言われるので、学校に行きたくない。



調査時期や調査対象、集計方法によって差はありますが、いわゆる「性的マイノリティ（性的少数者）」に該当する人の割合は、民間を含む各種調査で全人口の 1.6%～10.0%という結果が発表されております。

周囲の無理解、差別や偏見を恐れて、自身の性のあり方について、友達や先生だけでなく、家族にも打ち明けられないケースがあります。身の回りに「性的マイノリティ」に該当する人がいないと思っていても、それは、**あなた自身が気付いていないだけかもしれません。**

## ○ 性のあり方は多様です

性というと、男性・女性のどちらかを思い浮かべる人が多いかもしれません、性のあり方は、「生まれたときに割り当てられた性別」「性自認」「性的指向」「性表現」の4つの要素で考えることが大切です。

### 生まれたときに割り当てられた性別

戸籍に記載された性別。「生物学的な性」「からだの性」

### 性自認

自分がどの性別であるかの認識。「こころの性」

### 性的指向

恋愛感情や性的な関心についての指向。異性、同性、男女両方に向かうなど多様

### 性表現

言葉遣いや服装、しぐさ等自分自身がどのように性別を表現するかという概念

## ○ LGBTとは？

LGBTとは、以下の英語の頭文字をとった言葉です。その他のセクシュアリティを含めて、LGBTs や LGBTQ などと表現される場合もあります。

### L esbian

同性を好きになる女性

### G ay

同性を好きになる男性

### B isexual

異性を好きになることもあれば、同性を好きになることもある人

### T ransgender

からだの性とこころの性（性自認）が異なる人

### A sexusal

恋愛や性的な感情を誰に対しても抱かない人

### X gender

こころの性（性自認）を男性、女性のどちらでもないと感じている人

### Q uestioning

自分のこころの性（性自認）、性的指向が分からず、明確にしない、決めたくない人

## ○ もし、お子さんに打ち明けられた場合には？

性に関する悩みや困りごとは、たとえ家族であっても相談しづらいものです。もし、お子さんから相談を受けた場合には、**勇気を出して伝え**くれたことに**感謝を伝え、否定せずにしっかりと話を聞いてあげてください**。その際に大切なことは、なぜ打ち明けられたのか、**具体的にどのようなことを望んでいるのか、本人の気持ちを聞き、寄り添う**ことです。また、各種相談窓口や学校等に相談される際には、必ずお子さん本人からの了解を得た上で行いましょう。



## ○ 多様な性に関する相談窓口は？

### ■子ども相談支援センター

TEL0120-3882-56

- ・フリーダイヤル
- ・24 時間対応
- ・来所相談は要予約



### ■北海道 HP「LGBT 等に関すること」

多様な性についての情報や左記以外の相談窓口については、北海道のホームページでご確認ください。



学びたい！  
学びたくなる！  
体験できる！



札幌 深川

札幌 深川

札幌 森

札幌 北見

札幌 足寄

札幌 厚岸



ネイパルには、豊かな自然があります。  
生涯学習の場として、楽しく誰もが学べる事業・設備があります。  
障がいの有無によらず、参加できる事業があります。  
体験・研修をサポートする専門職員（社会教育主事・社会教育士）がいます。  
あなたもネイパルでいろんな体験をしてみませんか？

# ネイパル全道6施設

生涯学習のひきだし いっぱい持っています

障がいの方も、誰もが  
利用できる環境の中、  
スポーツや自然体験を！  
まずはスタッフにおまかせください

子ども会など  
各種団体の  
リーダー研修や、  
キャンプ事業など  
プログラムの企画運営から  
ご相談ください。

スポーツ団体の  
合宿や遠征、  
大会参加の拠点に！  
駐車場、体育館完備、スポーツ合宿を実施します。

研修で使って  
みようかな

親子で一緒に、  
四季を感じる自然体験を！

ネイパルは、子どもも保護者も安心して活動できる場所です。  
子育てサークル等の活動も、ご用意ください。

企業の社員研修や、  
職場のレクリエーションに！  
講習会のほか、スポーツ大会や野外炊事など、  
チームビルディングできるプログラムがあります。

いつもの  
ながまひ  
いってみるか！

高齢者の方も、サークル活動や  
健康・体力作りを！

みんなで集まって、レクリエーションや創作活動ができます。

学校の宿泊研修では、  
集団生活の中で  
非日常体験を！

施設プログラムや移動づくりもサポートします。

ネイパル砂川



0125-539-3248

福井市北丸4-16 砂川の里

ネイパル森



01374-65-2170

福井市森町中野4-16 森の里10

ネイパル足寄



0136-25-6111

福井市足寄町中野4-16 足寄の里

ネイパル躍川



0166-425-3200

福井市南3丁目7-1

ネイパル北見



0162-54-2066

北見町北見町字南端 305 横地1

ネイパル厚岸

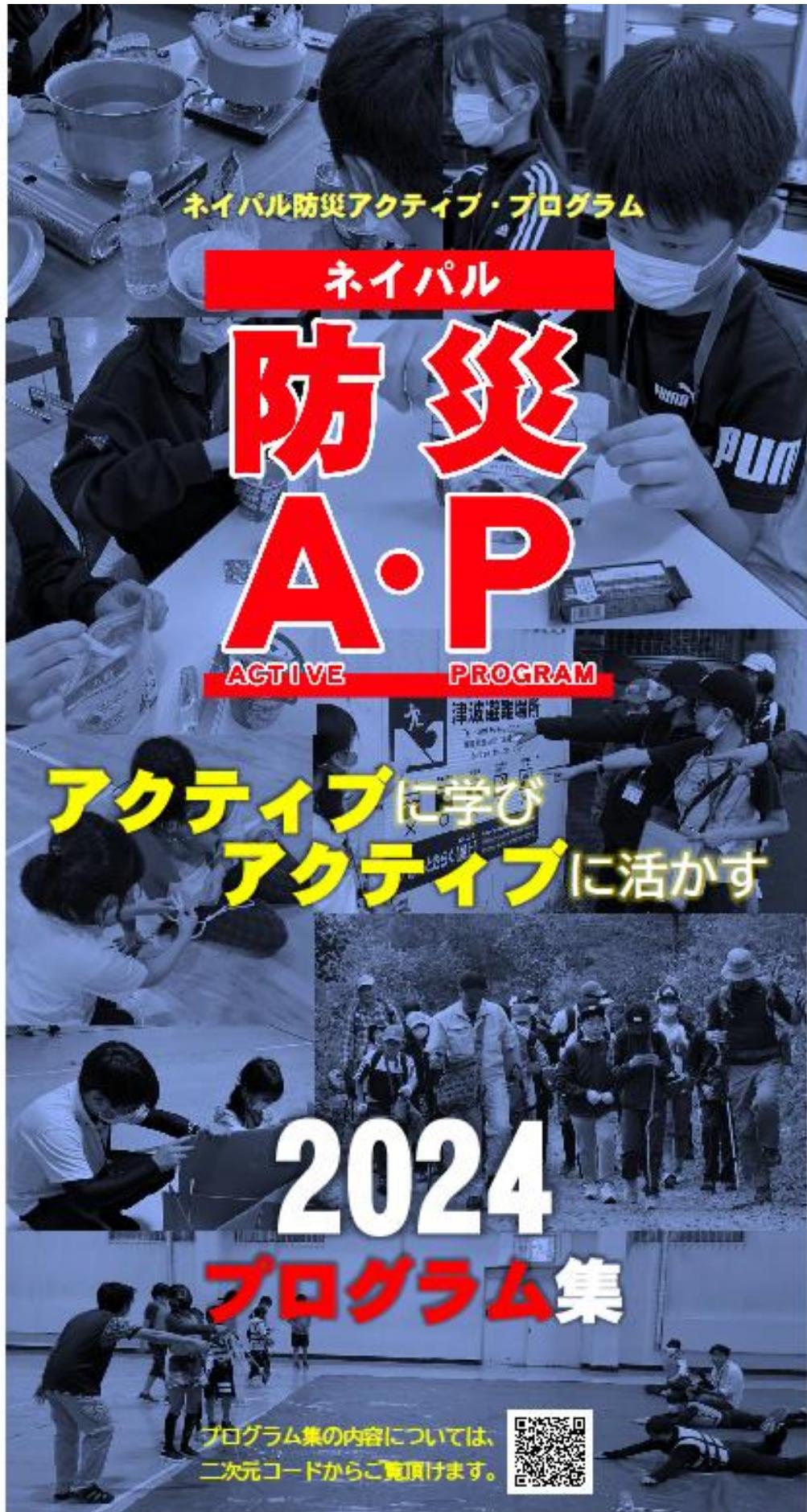


0175-25-1151

厚岸町厚岸町字厚岸 305 横地

北海道立青少年の宿活動実施施設ネイパル所在地









## 「体験」で子育てもアップデート！

ネイパル森では、子どもたちが自然とのふれあいや雑団生活を通じて、自ら考え方行動できる能力を培い、心豊かにたくましく生きることができるよう、様々な生徒事業を実施しています。

事業に参加されたお父さんやお母さんから寄せられた声を紹介します。ネイパルの事業にお子さんを参加させたい方や、家族で体験活動を行いたいと考えている方は、ぜひ参考にしてみてください。



家族で協力して調理したものを、コンロを囲んで食べる時間はとても幸せでした。  
娘子の眸が深まりました！

自然の中で遊ぶ子どもの姿は、キラキラ輝いていました！  
ゆっくりとした時間の中で子どもと向き合って過ごすことができました。

### 参加者の声

露天の星空を眺めていると、流れ星を見付けることができました。一生忘れられない、家族の思い出です。

娘子がテント設営のとき  
に張り切ってお手伝いをしてくれて、とても頼もしく感じられました。

## ○ちょっとしたコツ教えます！キャンプ In ネイパル

これからキャンプを始めてみたい！というご家族を対象に、快速かつ手軽にキャンプを楽しむ「コツ」を学ぶ内容で行いました。



## 保護者の声

- ・初めてのキャンプでしたが、日常とは違う環境の中で子どもと向き合うことができ、家族の良い思い出の一つになりました。
- ・普段はトマトを食べない息子が、「自分で作ると美味しいね」と喜んで鶏肉のトマト煮を食べる姿に驚きました。

## 活動のヒント

- ・プログラムを詰め込み過ぎることなく、活動時間にはゆとりを持ちましょう。
- ・活動意欲を高めるため、保護者が全てをするのではなく、お子さんに役割を与えましょう。
- ・お子さんの頑張りを見付け、たくさん褒めてあげましょう。

## ○親子でネイパル～雪ヒナカヨシ編～

イグルーづくりやナイトハイキングなど、雪や冬の寒さを活用した活動を通して、家族間の交流を深める内容で行いました。



## 保護者の声

- ・大自然の中でノビノビと身体を動かす姿が見られ、家の中で遊ぶのとはすいぶん違う姿を見せるなあと感じました。
- ・活動の際に、他の保護者と会話することで、子育ての情報やヒントを得られたことも良かったです。

## 活動のヒント

- ・保護者自身が全力で楽しめ、お子さんと感動を分かちましょう。
- ・日常とは異なる環境の中で、お子さんの成長と変化を探し、今後の子育てに生かしましょう。
- ・他家族の様子から、お子さんとの繋わり方などを見直す機会にしましょう。

## ネイパル森を使ってみませんか？

ネイパル森では、季節に応じた自然体験活動やクラフトなど、豊富な体験活動を用意して、皆様のご利用をお待ちしています。学校や少年団だけでなく、ご家族やサークルなどでもご利用いただけますので、利用の希望がある場合には気軽にご相談ください。経験豊富なスタッフが皆様のご利用を応援します！



〒049-2141

茅野市御所字御ヶ原457番地15

北信立寄少年体験活動支援施設ネイパル森

HP <https://nepal-mori.org/>

やってみたい！がここにある！



家庭で。地域で。  
みんなで考え、取り組みましょう

# 子どもの望ましい生活習慣・学習習慣

子どもが生涯にわたって幸福で豊かな生活を実現し、持続可能な社会の創り手として自立していくためには、豊ましい生活習慣や学習習慣等の定着が大切です。これらは、保護者や身近な大人をはじめ、地域全体で、子どもの成長に關心をもつことで身についていきます。

本リーフレットでは、北海道の子どもの現状のほか、北海道教育委員会等の取組や家庭教育や地域活動を支援する「北海道家庭教育サポート企業等制度」の協定会員企業の取組を紹介しています。

家庭、地域、学校、サポート企業等が連携し、継続的な子育て支援等の取組を一層充実させていきましょう。

## ◆ 北海道の子どもの現状（令和6年度全国学力・学習状況調査）

### 【生活習慣】朝食を毎日食べていますか

「している」、「どちらかと言えば、している」と回答している児童生徒の割合は、小学校 92.0%、中学校 89.3%で、全国と比べて小学校で 1.7 ポイント高く、中学校で 1.9 ポイント低い。

### 【学習時間】学校の授業以外に、普段（月～金）1日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか（図1・2）

1日に1時間以上勉強していると回答している児童生徒の割合は、小学校 52.4%、中学校 57.0%で、全国と比べて小学校で 2.2 ポイント高く、中学校で 7.3 ポイント低い。

### 【SNS・動画】普段（月～金）1日当たりどれくらいの時間、SNS や動画視聴などをしますか (学習やゲームを除く)

1日に2時間以上、携帯電話やスマートフォンで SNS や動画視聴をしていると回答している児童生徒の割合は、小学校 39.3%、中学校 41.1%で、全国と比べて小学校で 5.5 ポイント高く、中学校で 5.2 ポイント高い。

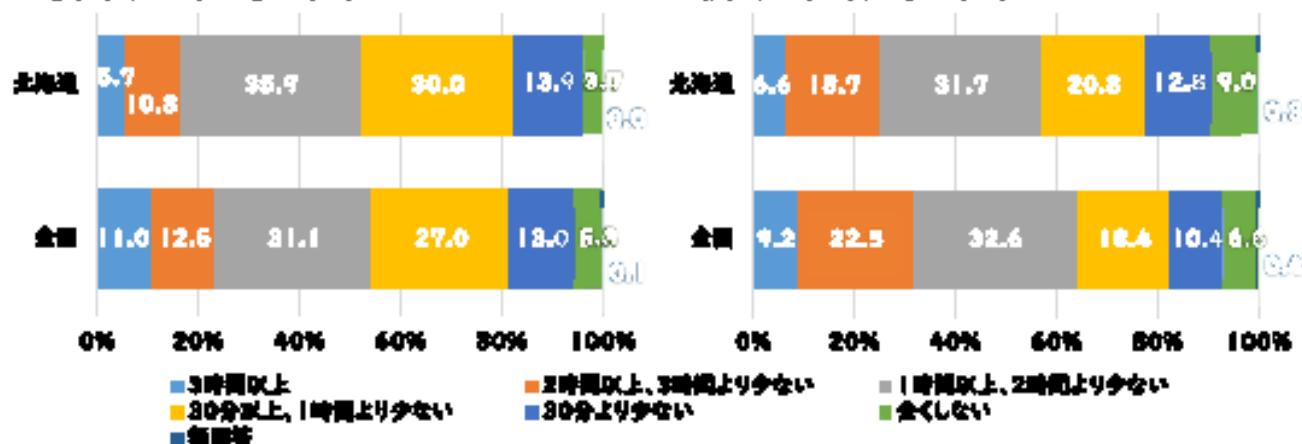
### 【自己有用感】自分には、よいところがあると願いますか

「当てはまる」と回答している児童生徒の割合は、小学校 40.7%、中学校 41.5%で、全国と比べて小学校で 2.7 ポイント低く、中学校で 1.1 ポイント高い。

### 学校の授業以外の普段（月～金）1日当たりの勉強時間

（図1）児童（小学校6年生）

（図2）生徒（中学校3年生）



## ◆ 非対称性と統一性の問題 1. 二種差し引き問題の複数解、対称性と非対称性の問題◆

### 【生活リズムチェックシート】

右の生活リズムチェックシートのほか、生活全般圖も小学校低学年・高学年、中学生用があり、成年用もあります。

生活リズム向上に対する関心や意欲を高めて、子どもの望ましい生活習慣の定着を図ることをねらいとしています。 国立公衆衛生院

生活習慣が亂れがちな長期休業中などに活用し、目標をたてて目標達成に努力したり、一日の生活を振り返る機会にすることができます。



## 【実験】実験手順書類の整理

北海道教育委員会では、これまで、家庭教育支援の取組として子育て中の保護者が気軽に集える「家庭教育学びカフェ」事業などを実施し、気軽に相談にのってくれて、アドバイスをしてくれる「家庭教育ナビゲーター」を整成していました。

家庭教育支援者のスキルアップやネットワーク化を図るため、文部科学省で実施している「家庭教育支援チーム」への登録を呼びかけ、令和6年度7月末現在13箇内18団体が登録して、全道各地で活動しています。

## 子どもの精神疾患の特徴

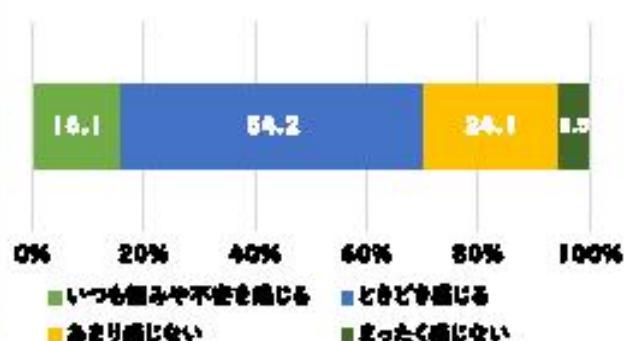
北海道のプロスポーツ6チームの選手から好きな本やおすすめ本など本の魅力を伝えてもらい、子どもたちが自発的に読書活動に取り組むことができるような動画を作成・配信しています。

### 《魔力チーク》

- ・エスピーラーダ北海道
- ・北海道エイロースターズ
- ・北海道コンサドーレ札幌
- ・北海道日本ハムファイターズ
- ・レバンガ北海道
- ・ヴォレアス北海道

## 子育ての悩みや不安

現在、子育てをしていて悩みや不安を感じているか  
(15歳未満子女を持つ親)



「早寝早起きごはん」運動会（文部科学省・「早寝早起きごはん」全国協議会）

家庭における食事や睡眠などの基本的な生活習慣の亂れが子どもの学習意欲や体力の低下につながっていることから、子どもの生活リズムの向上のための全国的な普及啓発活動を行っています。

このことは、家庭や学校のみならず、地域全体で気運を高め、読書活動や体験活動の推進、適切なテレビやゲームの時間、スマートフォンの使用時間などと一緒に総合的に取り組んでいく必要があります。

## ◆ 北海道教育委員会等の取組 2 ~家庭・地域と学校との連携促進、体験活動の促進~



↑地元ワイナリーの協力を得て、ワインづくりを実現（余市町立本郷小）



「北海道地学協同アワード 2023」受賞校の取組・成果

地元事業所と共に商品開発して実現した「岩盛めぐるサンド」  
(稚内市立稚内小) ↓

### 【地域学校協同活動】

幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして、以下の様々な取組を組み合わせて実施する活動です。

- ・学びによるまちづくり・地域課題解決型学習
- ・郷土学習・放課後子供教室・地域未来塾
- ・地域教育支援活動・学校に対する協力活動
- ・地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画など

※「北海道地学協同アワード」は、学校教育目標やスクールミッション達成のため、幅広い地域住民等の参画を得て、地域と連携・協同体制を構築し、地域課題の解決に向け、生徒が多様な学習活動に取り組んでいる学校に対して北海道教育委員会教育長が表彰するもの。

### 【コミュニティ・スクール（CS）】

コミュニティ・スクールは、学校運営協議会を設置した学校のことをいいます。

協議会は、地域住民や保護者が学校運営に積極的に参画し、学校の課題（ICT機器の活用等）、子どもの課題（不登校や学校外での問題行動等）、地域の課題（地域防災等）を話し合い、目標を共有します。

地域の声を生かし、地域と一緒にやって特色ある学校づくりを進めています。

### 【北海道MA+CHプロジェクト】

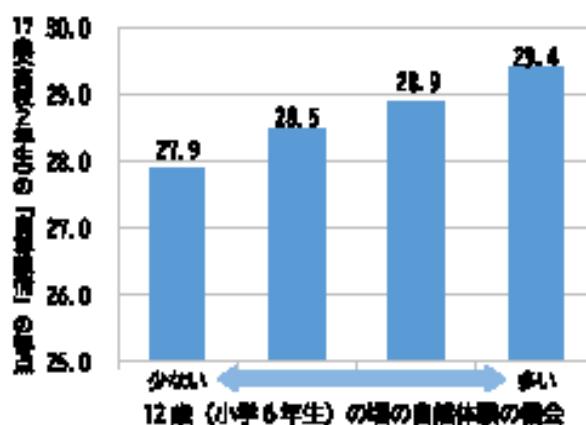
地域と学校がともに学ぶ取組を通して、持続可能なまちづくりに資する本道の未来を創る人材を育成するため、各管内の高校1校を指定校として、重点的に地学協同を推進しています。

名前	北海道立新琴似高等学校	上川	北海道立恵庭高等学校
石狩	北海道立石狩高等学校	留萌	北海道立留萌高等学校
稚内	北海道立稚内高等学校	厚岸	北海道立厚岸高等学校
釧路	北海道立釧路高等学校	オホーツク	北海道立厚岸高等学校
日高	北海道立日高高等学校	十勝	北海道立日高高等学校
紋別	北海道立紋別高等学校	網走	北海道立弟子屈高等学校
桔梗	北海道立桔梗高等学校	根室	北海道立根室高等学校

### （地学協同のめざすところ）

【学校】教育活動の充実/豊かな学習活動の展開・充実 ⇒ 子どもが「新しい時代を生き抜く力」の育成  
【地域】持続可能な地域社会の実現/地域課題に向けた解決に向けた協議の構成 ⇒ 地域活性

### 「体験活動」の影響



### 【国立青少年体験活動支援施設ネイバリー】

文部科学省の調査では、小学生の時の体験活動が多いほど、高校生の時の自尊感情や外向性、精神的な回復力が高くなる傾向が見られ、小学生の時に体験活動などの経験は、最初は経験しても、その後の成長に良い影響を与えていました。

道内6か所のネイバリー（砂川、釧路、森、北見、足寄、厚岸）は、学校だけではなくグループや家族でも利用することができ、自然体験や創作活動、軽スポーツなど、様々な体験プログラムを活用できます。また、子どもだけや親子で参加できるキャンプなどの生徒事業も年間を通じて開催しています。



HPへのリンク

## ◆ 北海道家庭教育サポート企業の地域での取組

### 体験活動を通して地域資源・魅力を発信する企業

(株式会社阿寒シェル鉱業)

釧路市で貝化石を採掘し肥料・飼料製造販売する(株)阿寒シェル鉱業では、鉱山が營業していない日を利用し、化石掘り体験を積極的に受け入れています。これまで、釧路市内の学校や市内外の方々に、広く体験の場を提供しています。

太田寧恵は「化石掘りができる場所は道内でも豊少なく、釧路市阿寒町の魅力の一つ。多くの人に化石掘りを楽しんでもらいたい。」と、今後も化石掘り体験を受け入れ、地域活性化につなげたいと語っています。



### 仕事を通じての社会貢献を資金に投げる企業

(株式会社田嶋本堂カンパニー)

三笠市の建設業、株式会社田嶋本堂カンパニーは、職場体験・インターンシップの受け入れなど、学校教育の支援を積極的に行ってています。

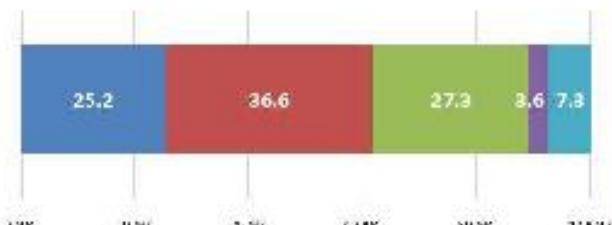
特に、毎年地元の小学校の校庭に造成する雪山スロープは、子どもたちが大好きなスキー体験や、休み時間中の雪遊びに欠かせないものになっています。子どもたちからは「冬になつたら大きな雪山ができるのが楽しみです。」「毎日友達をさそって雪山で遊んでいます。」などのメッセージが寄せられています。



### 今、「地域の支え」が求められています！

「子育てする人にとって地域の支えは重要だと思うか」調査では、61.8%が、子育てに地域の支えが「重要だと思う」と回答し、子育て中、子育て経験がある方は7割弱が重要だと回答しました。

(令和3年北海道教育総合会議調査による調査/文部科学省)



■とても重要だと思う  
■どちらともいえない/わからない  
■全く重要だと思わない

### 学校と力を合わせ、地域を支える企業

(市原精肉店)

「あづまジンギスカン」でおなじみの市原精肉店は、厚岸町で事業を展開する企業です。学校の家庭科の授業に食材を提供することや、職場体験学習の受け入れを積極的に行うなど、地域の子どもたちのために学校と協力した取組を実施しています。市原代表取締役は「職場体験で学んだマナーを日常生活に生かしてほしい。」と話すとともに、今後も子どもたちの健ましい生活習慣の確立に向けても、継続的に支援したいと語っています。



### 幅広い世代の「地域づくり」に取り組む企業

(一般社団法人マッチワークス)

一般社団法人マッチワークスは、初山別村内にある多世代交流施設「隣小屋(つなごや)」で、コミュニティカフェの運営を行っています。

カフェでは、子育て世代を含めた幅広い世代が集い、交流できる場を提供するほか、村外に通学している高校生も含め、児童生徒を対象とした学習のサポートを行う自学塾を運営するなど、子どもたちや地域の方々の「やりたいこと」を実現できる環境づくりをしています。



### 【北海道家庭教育サポート企業等制度】

家庭教育を支援するための職場環境づくりに取り組む企業等と北海道教育委員会が協定を結び、家庭教育の一層の推進を図るための制度です。令和5年度末で2,800社以上が締結しています。

#### 〈主な取組〉

- ・従業員が参加しやすい環境整備
- ・学校のインターンシップの受け入れ
- ・地域行事への協力・支援
- ・「早寝早起き朝ご飯」の働きかけなど、それぞれの企業や地域の実態にあわせて様々な活動を行っています。



【発行】北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課

電話：011-204-5994

E-mail:kyoikusei@edu1.pref.hokkaido.jp

# 時間の目安を決めて 子どもの生活リズムを整える！

- 夢や目標を実現し、自立して生きていくためには、望ましい生活習慣や学習習慣を身に付けることが大切です。
- 時間の目安や目標を決め、何を優先して取り組むか、子どもと話し合ってみませんか。

Webページは  
こちら



（注）あくまでも参考として示しているものであり、地域や子どもの実態に応じて時間の目安を設定することが大切です。

## 学習時間

【小学生】第1学年= 20分以上 第2学年=30分以上  
第3学年= 40分以上 第4学年=50分以上  
第5学年= 60分以上 第6学年=70分以上

平日、授業時間以外に学習する時間（宿題、家庭学習、学習塾、家庭教師などを含む）の目安です。  
発達の段階に応じて無理なく学習時間を増やしていく工夫をしましょう。

## 運動時間

### 1日60分以上

体育の授業以外で運動する時間の目安です。  
スポーツはもちろん、スポーツ以外の様々な運動や家庭での手伝いなどを取り入れ、「1日60分」以上の運動時間を確保しましょう。

## 学習以外でメディアに触れる時間

（テレビやゲーム、スマートフォンでのSNSや動画視聴など）

### 1日合計2時間以内

平日、学習以外でメディア等に触れる限度としての時間の目安です。  
時間はもちろん、メディア等の使い方についても家庭での約束を決めて、十分な学習時間や睡眠時間などを確保しましょう。

## 読書時間

### まずは1日10分以上

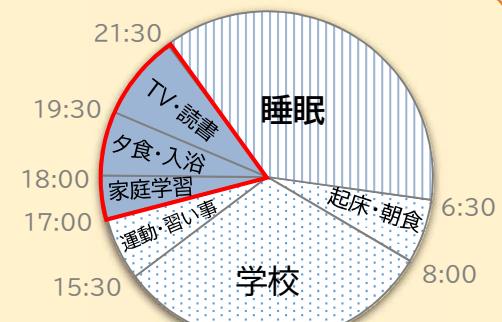
家庭や図書館で読書をする時間の目安です。  
読書の量を増やすだけでなく、読書の幅を広げ、質を高めることにも配慮し、1日10分の読書をきっかけに、「10分+α」の読書習慣を身に付けましょう。

## 1日の生活のバランスを考え、 時間の目安を決めましょう！

1日の生活について振り返り、帰宅してから寝るまでの限られた時間を適切に過ごすことができるよう、学習、運動、読書、睡眠、テレビやゲームなどに使う時間の目安を決めましょう。

学習時間については、2ページを  
運動時間については、3ページを

読書時間、睡眠時間については、4ページをご覧ください。



小学校5年生の平日における生活時間の例（睡眠時間を9時間で設定）

# 1 学習習慣の定着を！



## 自ら計画を立て、やり抜く姿を見守りましょう

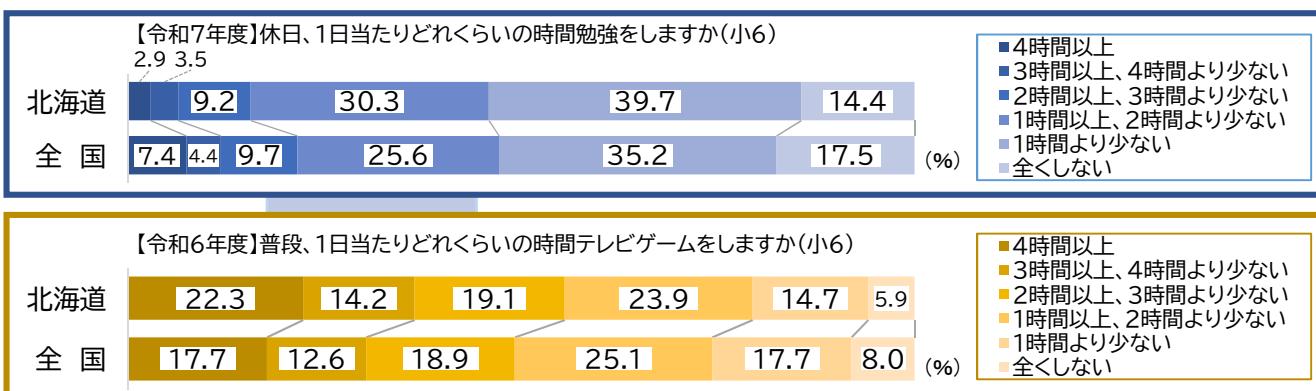
○ 家庭では子どもが自ら学習計画を立てて実行する中で学習意欲を向上させ、望ましい学習習慣を確立させていくことが大切です。子どもが学習に取り組む姿をほめるなどして自信をもたせるとともに、最後までやり抜くことの大切さを伝えましょう。

## 子どもとルールを作りましょう

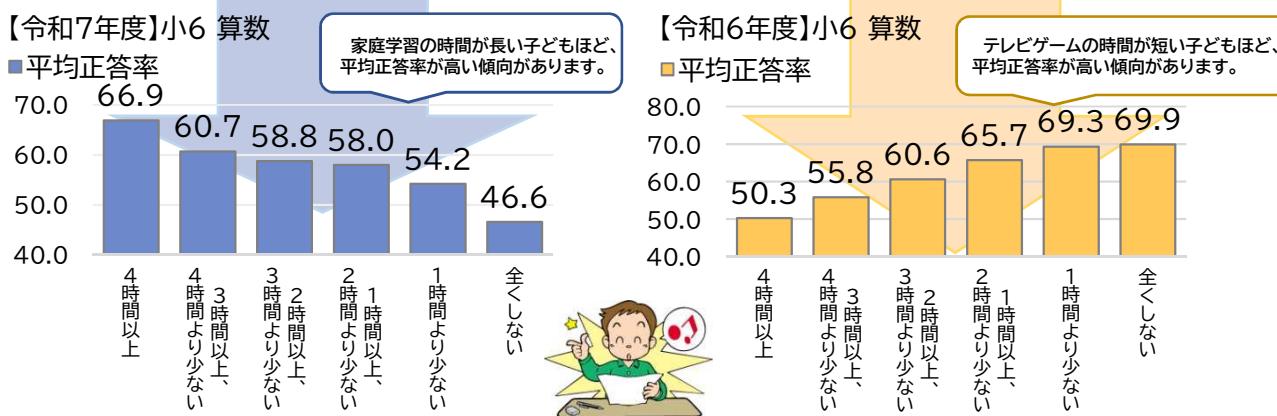
○ 本道の子どもたちは、1日の中で、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームなど)をする時間が、全国の子どもたちに比べて長い傾向があります。家庭でルールを作り、規則的な生活習慣を整えましょう。

## 本道の子どもたちの学習習慣 (令和7,6年度 全国学力・学習状況調査より)

○ 1日当たり1時間以上勉強している子どもの割合が全国と比べて低く、1日当たりのテレビゲームをしている時間の割合が全国と比べて高い傾向にあります。



## 学習習慣と平均正答率の相関 (令和7,6年度 全国学力・学習状況調査より)



## 家族とのふれあいを通して、家庭での学習習慣を身に付けさせましょう！

### ① ほめる

がんばってできたこと、挑戦したことを認めて、ほめ、子どものやる気を育てましょう。

### ② 見守る

子どもが家庭学習の計画を立て、取り組む姿を見守り、応援して、子どもの自主性を育てましょう。

### ③ 決める

スマートフォンやゲームをする時間の約束を家族と一緒に決め、一日の時間を大切にする意識を育てましょう。

※子どもの成長に応じたかかわり方に関する資料も掲載しています。資料は[こちらから](#)⇒



## 2 運動習慣の定着を！

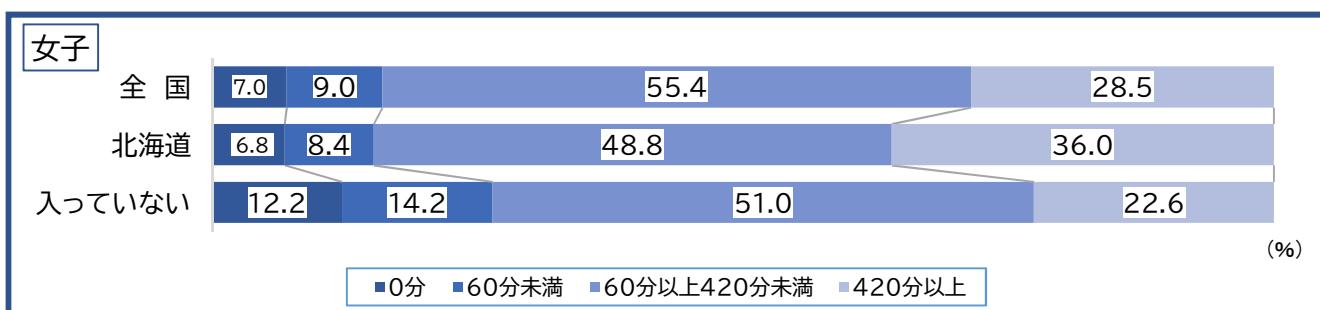
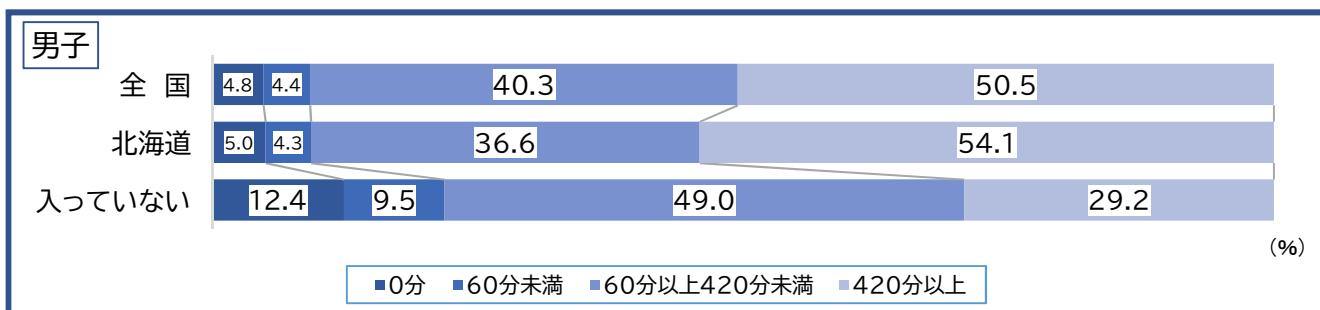
### 「1日60分」以上の運動時間を確保しましょう

- 体力は、健康維持のほか、意欲や気力といった精神面の充実に大きくかかわっています。
- 体力の意義を踏まえると、運動をするための基礎となる身体的能力である「運動をするための体力」と、体の健康を維持し、病気にならないようにするための「健康に生活するための体力」があります。
- 地域のスポーツクラブや部活動に所属していない場合でも、運動機会を確保して、「健康に生活するための体力」を高める必要があります。

※WHO(世界保健機関)をはじめとして、多くに国々では「毎日、合計60分以上の中強度から高強度の身体活動を奨励しており、我が国でも、文部科学省が幼児期運動指針の中で「身体活動の合計が60分以上」という目安を示しています。

### 本道の子どもたちの運動の状況（令和6年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査より）

- 全国、全道の児童の体育以外の1週間の総運動時間と学校の運動部や地域のスポーツクラブに「入っていない」児童の体育以外の1週間の総運動時間との比較



- 学校の運動部や地域のスポーツクラブに「入っていない」児童は、体育授業以外の1週間の総運動時間が60分未満である割合が高いため、家庭や地域での日常的な運動機会を確保し、生涯を通じて健康・安全で活力ある生活を送るための基礎を培う必要があります。

### 運動習慣の定着に向けた取組を進めましょう！

■ 家庭で子どもと一緒に、手軽な運動を行ったり、体力・運動能力の向上に向けた目標を立てみたりするなどしながら、子どもの成長や変容をほめたり、認めたりしましょう。

どさん子元気アップチャレンジ  
「リズム運動動画 みんなでムーブ」

仲間や家族と一緒に  
踊って、気持ちのよい  
汗を流してみましょう！  
Let's Dancing !!



踊りの動画  
配信中

YouTube

みんな

検索

■ 生涯を通じて健康な生活を送るための基礎を培っていくためには、小学校時代から、生活の中に運動を取り入れて運動習慣を定着させ、健康的な生活習慣を形成することが大切です。

#### 生活リズムチェックシート「運動習慣バージョン」

ぜひ、ご家庭で子どもと一緒に生活習慣を視覚化し、理想の生活習慣を考えてみましょう！

##### 【日常的な運動の例】

- ・少年団やスポーツクラブ等でスポーツに取り組む
- ・休日等に家族や友達同士でスポーツに親しむ
- ・放課後や休日に散歩やジョギング、なわとびなどを取り入れる

Webページへ  
はこちらから



### 3 読書習慣の定着を！

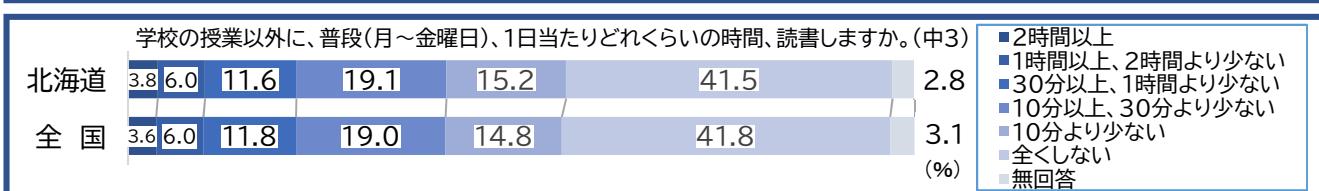


#### 家や図書館で読書する時間=まずは1日10分以上

- 子どもの読書習慣は、日常の生活を通して形成されるものであることから、家庭での読書活動を習慣化することが大切です。
- 1日10分の読書をきっかけに読書習慣を身に付け、少しづつ増やしていくことが望されます。また、冊数に着目して、「週〇冊以上」、「月〇冊以上」という設定を行うことも効果的です。

#### 本道の子どもたちの読書時間 (令和7年度 全国学力・学習状況調査より)

- 1日当たり10分以上読書をしている子どもの割合が全国と比べて、小学6年生は低く、中学3年生は全国水準並みとなっています。引き続き家庭での読書習慣の定着を図る必要があります。



#### 家庭での読書習慣を考えてみましょう！

##### うち どく 家読の すすめ

家庭での読書を通して、家族のコミュニケーションを図ろうという取組で、決まったルールやスタイルはありません。



##### □ 読書で子どもが得られるもの

読書は、①新しい知識や情報が得られる ②豊かな言葉や表現を学べる ③感性が豊かになる ④想像力や空想力が養える ⑤感動が味わえる などのよさがあります。～全ての学びの基盤であり、子どもの健やかな成長に必要です～

##### □ 家族で読書する時間

寝る前、夕食後、休みの日の朝食後など、時間や曜日を決め、テレビやスマートフォン等を使ったゲームなどから離れて、家族全員で読書をする時間を設けてみてはいかがでしょうか。



##### □ 家読の効能

家読により、①家族でのコミュニケーションが活発になる ②伝える力や新しいものを考える力を育むなど、子どもの成長につなげることができます。

### 4 適切な睡眠時間を！



小学生 =  時間  分 中学生 =  時間  分

- 子どもが健やかに成長するためには、早寝早起きの習慣や適切な睡眠時間を確保することが不可欠です。
- 必要な睡眠時間には個人差があります。1日24時間の中で、睡眠時間をどのくらい確保するかについて、子どもと話し合ってみましょう。子どもが目標をもって自分自身の生活時間を設計できるよう支援することが大切です。

#### 生活リズムチェックシート

毎日の生活習慣づくりの取組は、一つ一つ努力して身に付けていくものです。小さな頑張りを見逃さず、たくさんほめることで生活習慣を身に付けていくことができます。「生活リズムチェックシート」をつかって毎日の生活時間を親子で確認してみませんか。

※「生活リズムチェックシート」はWebページからダウンロードできます。



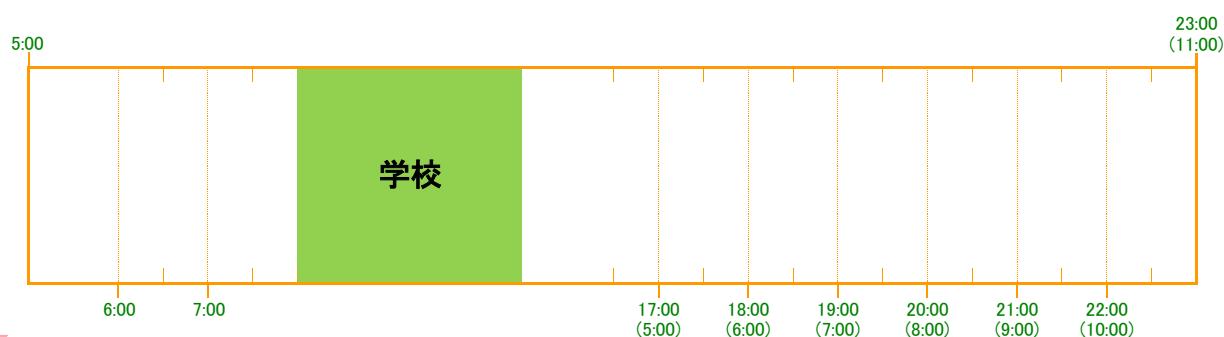
↑Webページは[こちら](#)

# 平日の1日の生活をふりかえってみましょう！

5:00	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	15:30	17:00	18:00	19:30	21:30	22:00
例1 睡眠 (すいみん) 【9時間】	起きる みじたく	朝ご 食はん (あさび・うんどう・ どくしょなど)	登校	学校	遊び・運動・読書など (あそび・うんどう・ どくしょなど)	家庭学習(宿題) (べんきょう・ しゅくだい)	夕食・入浴など (ばんごはん・ おふろなど)	だんらん ・テレビ ・読書など 【2時間】	睡眠 (すいみん) 【9時間】		

5:00	6:00	7:00	7:30	8:00	15:30	17:00	18:30	19:30	22:00
例2 睡眠 (すいみん) 【8時間】	起床 みじたく	朝ご 食はん (あさび・うんどう・ どくしょなど)	登校	学校	部活動等 【1時間30分】	家庭学習(宿題) (べんきょう・ しゅくだい)	夕食・入浴など (ばんごはん・ おふろなど)	だんらん ・テレビ ・読書など 【2時間30分】	睡眠 (すいみん) 【8時間】

## ① ふだんの、平日の1日の過ごし方を書いてみましょう



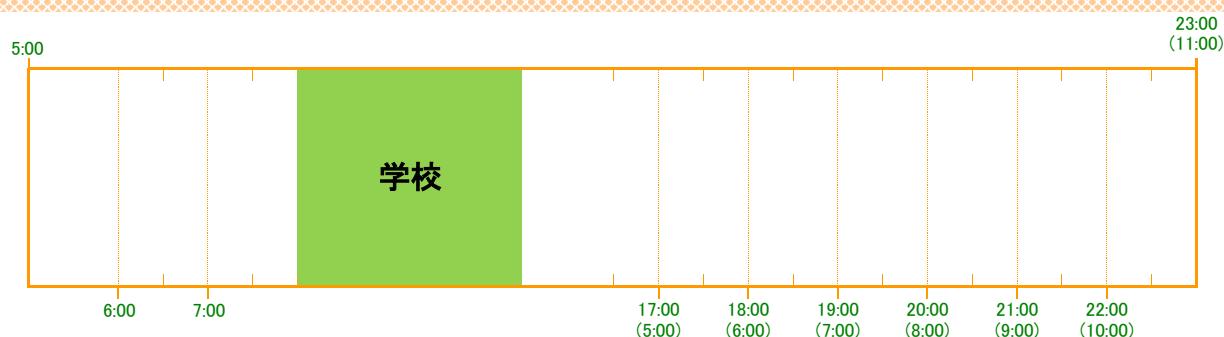
## ② 目標時間を決めましょう

● 時間を決めて書きましょう

学習時間 (べんきょう)  時間  分 読書の時間 (どくしょ)  時間  分 睡眠時間 (すいみん)  時間  分

運動時間 (うんどう)  時間  分 テレビやゲームなどの時間  時間  分

## ③ 平日の1日の過ごし方の計画を書きましょう

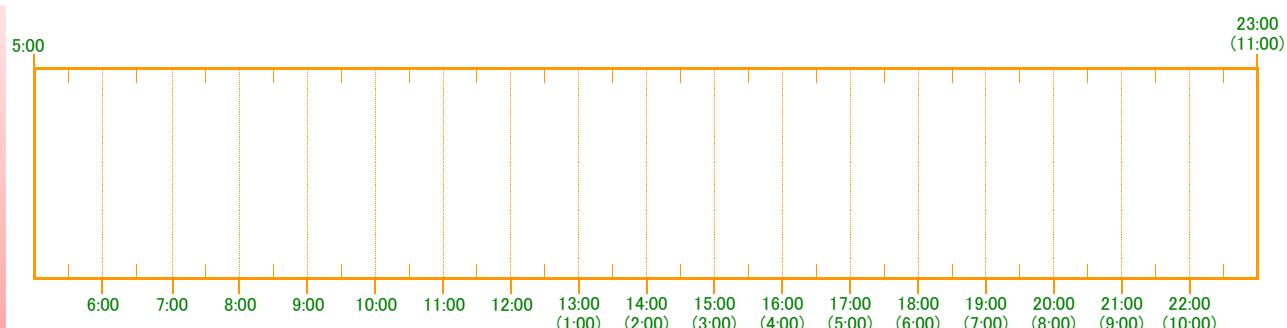


# 土曜日、日曜日の1日の生活をふりかえってみましょう！

5:00	6:00	6:30	7:00	7:30	8:00	8:30	9:30	10:00	10:30	11:30	12:00	13:00	16:30	18:00	19:30	21:30	22:00
例1 睡眠 【9時間】	起きる・みじたく （朝ご食はん）			家庭学習 【1時間】	読書 【30分】	運動 【1時間】	昼食など 【1時間】			家庭学習 【1時間30分】	夕食・入浴など 【1時間30分】	だんらん・テレビ・読書など 【2時間】	睡眠 【9時間】				

5:00	6:30	7:00	7:30	9:00	12:00	13:00	14:00	17:00	17:30	18:00	19:30	22:30
例2 睡眠 【8時間】	起きる・みじたく （朝ご食はん）			部活動(少年団)や習い事 【3時間】	昼食など 【1時間】			家庭学習 【3時間】	読書 【30分】	夕食・入浴など 【1時間30分】	だんらん・テレビ・読書など 【3時間】	睡眠 【8時間】

## ① ふだんの、土曜日、日曜日の1日の過ごし方を書いてみましょう



## ② 目標時間を決めましょう

- 時間を決めて書きましょう

学習時間  
(べんきょう)  時間  分      読書の時間  
(どくしょ)  時間  分      睡眠時間  
(すいみん)  時間  分

運動時間  
(うんどう)  時間  分      テレビやゲームなどの時間  時間  分

## ③ 土曜日、日曜日の1日の過ごし方の計画を書きましょう

